



(左から) 大山 県政策部長 (知事代理)、香川高専門 安蘇校長、山下市長、松尾、大野敬太郎衆議院議員

高専DCON: ディープラーニング×ハードウェア 高専生による事業創出コンテスト



- ディープラーニングを活用した作品の展示と事業ピッチコンテスト
 - 全国の高専から公募。エントリーされたものを審査
 - 通過したチームには、超強力なメンター陣(DL・AI・IT系の有名企業の創業者など)が、事業面のメンタリングを行う
 - 日本を代表する複数のVCによる「マネーの虎」的な評価
- 日程: 2019年4月22-24日
 - コンテスト 4月24日 10時~12時
- 会場: AI/SUM内(丸ビル・新丸ビル)

主催: (社)日本ディープラーニング協会、(株)日本経済新聞社
協力: (株)ABEJA、connectome.design(株)、(株)さくらインターネット、ニューラルポケット(株)、(株)フラワー、
(株)ディープコア、(株)経営共創基盤、(株)ブレインパッド、Infinity Ventures LLP、
(株)東京大学エッジキャピタル、(株)DBJキャピタル、(株)WiL
運営: DCON準備委員会
後援: 国立高等専門学校機構、経済産業省、文部科学省

日本のAI産業は高専生がつくる? 「高専 DCON」がすごかった —— 製造現場をAIの目が支援、逆転発想の「電線点検AI」



ベンチャーキャピタルの面々が、「仮に企業だったら投資するかどうか」の目線で審査。審査員は、WiLの伊佐山元氏、DBJキャピタルの河合将文氏、IGPIビジネスアナリティクス & インテリジェンスの川上登福氏、東京大学エッジキャピタルの郷治友孝氏、ディーブコアの仁木勝雅氏。

1位と2位で同時にバリュエーション金額を掲げた結果、長岡高専プレラボチーム（右）が優勝となった。左4人は香川高専「MILab & TEAM ARK」チーム。

DCONで受賞した高専一覧

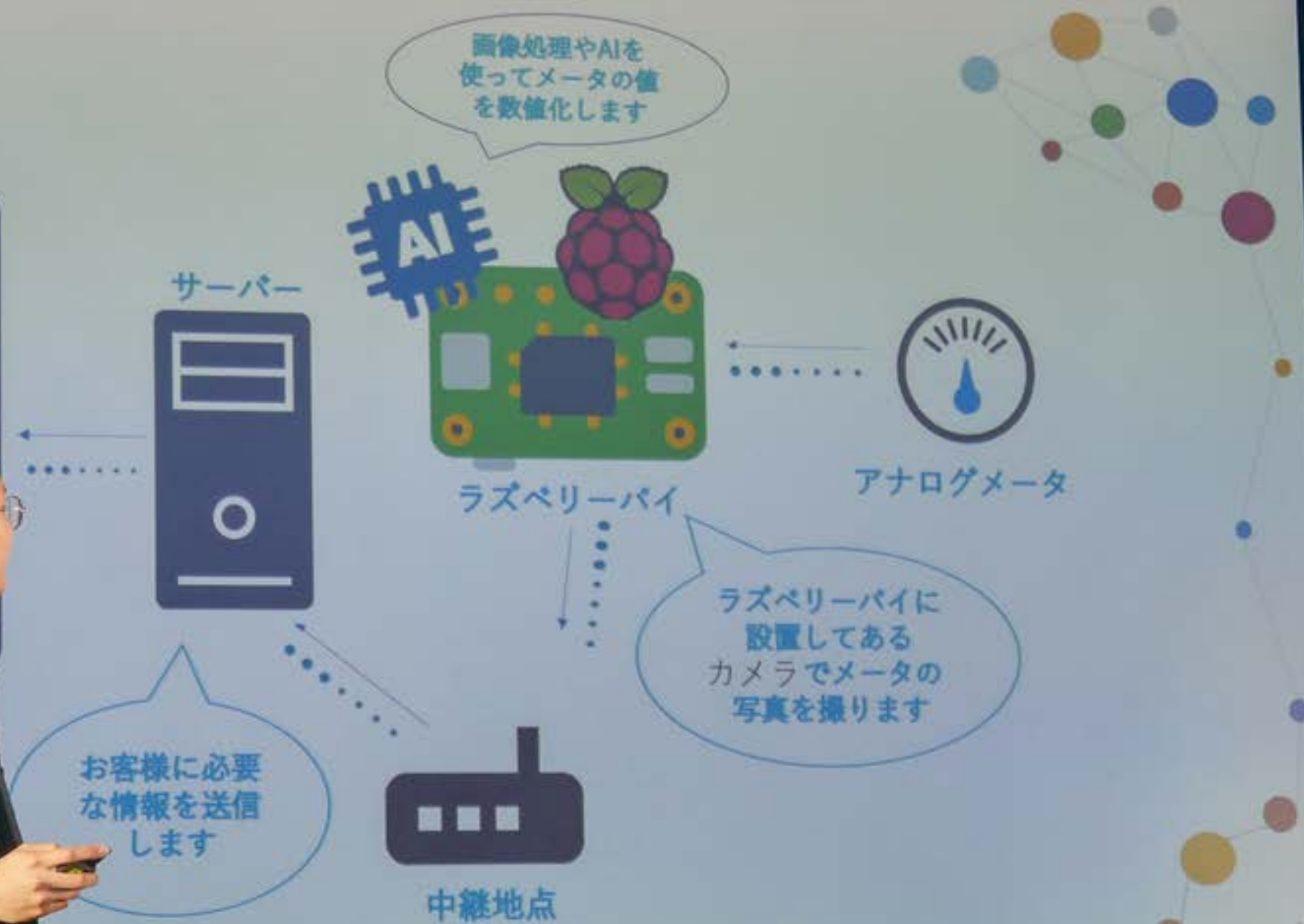
学校	チーム名	作品名	バリュエーション金額	投資額	受賞
長岡工業高専	長岡高専プレラボチーム	METERAI	4億円	4000万円	最優秀賞、コニカミノルタ賞
香川高専	MILab & TEAM ARK	送電線点検ロボット	3億円	3000万円	
沼津工業高専	鄭研究室ドライブレコーダチーム	ディープラーニングによる次世代の運転支援で安心・安全な社会を目指す！	2億円	2000万円	SMBC賞
沖縄工業高専	Fish learning	ディープラーニングを用いた美ら海の魅力発信プロジェクト	1億円	3000万円	
香川高専	TEAM SKY	イノシシ捕獲用箱罟	5000万円	500万円	
長岡工業高専	長岡高専視覚情報処理研究室	モバイル端末による屋内ナビゲーションのための移動量推定システム	500万円	100万円	HEROZ賞

点検作業 巡視作業

を

人がやっている







企業評価額 4億 円
投資額 4000万 円

GrandPrix
起業資金 ¥1,000,000
JDLA 一般社団法人日本ディーブローニング協会

高専DCON 2019で優勝した長岡高専長岡高専プレラボチームの3人（中央）。右は司会の厚切りジェイソンさん、右から2番目はDCON準備委員会委員長の松尾豊教授、左は小島瑠璃子さん。

送電線点検ロボット



四国電力株式会社

YONDEN



テクノ・サクセス株式会社



独立行政法人 国立高等専門学校機構

香川高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY KAGAWA COLLEGE

MILab & TEAM ARK

共同研究により開発

送電線に発生する損傷



落雷による損傷
大事故の原因

AI送電線点検システム



正常部分のみを学習



正常部分を検出



異常部分で信頼度が低下

異常データなしで異常部分を検出

AI送電線点検システム



実際の送電線の損傷を検出できるか？

高専の可能性、地方の可能性

- ディープラーニング × ハードウェアの可能性
- ものづくりの優良企業はほとんど地方にある

- 講演
- 教育：若い人にディープラーニングを勉強してもらう
- 地域の優良なものづくり企業との共同開発
- スタートアップの設立
- 東京から投資を呼び込む。地銀を中心とした投資の仕組みも。

- この成功例を作って全国に広げていきたい
 - 香川、岩手、北九州、...